

令和2年度 NPO活動資金助成団体・助成事業一覧

| No. | 区分 | 団体名 | 事業名 | 助成額(円) |
|--------|---------|--------------------|--------------------------|-----------|
| 1 | スタートアップ | こだまの集い | 育児×介護×仕事の見える化ワークショップ | 389,000 |
| 2 | | すぎなみ子どもサポート | 地域学習推進事業(プロによる中学生の排球指導) | 80,000 |
| 3 | ステップアップ | サービスフロンティア | 杉並に伝わる昔話を紙芝居に仕立て口演する人材育成 | 179,779 |
| 4 | | すぎなみ子育てひろばchouchou | 赤ちゃんカフェ | 126,905 |
| 5 | | スマイリングホスピタルジャパン | 重症心身障がい児の学びサポート事業 | 280,000 |
| 合 計 5件 | | | | 1,055,684 |

助成金対象事業報告書(令和2年度)

| | |
|------------|---|
| 団体名 | NPO法人こだまの集い |
| 事業名 | 子育て×介護×仕事の見える化ワークショップ |
| 事業(該当区分に○) | ①スタートアップ事業 2. ステップアップ事業 |
| 事業概要 | 子育て世代に向けて、子育てと介護が重なるダブルケアについて、啓発を行うためのワークショップ(β版)作成事業。少子高齢社会に伴い、子育て世代にも起こり得る介護を身近に感じていただきながら、子育て世代がコミュニケーションを取りながら介護について語れるツール作成。 |
| 事業目的 | 1, 子育てと介護が重なる《ダブルケア》に直面したとき、気付きのきっかけとなる。 2, 子育て、介護、仕事のタスクを視覚化することで、いち早く夫婦間で話し合い周囲に助けを求める行動を起こせるきっかけづくりを目指している。 |

1 事業の実施状況 及び 自己評価

| | 事業計画 | 事業実施結果 |
|------------------|--|--|
| 実 施 状 況 | ①実施対象者・対象人数(延べ人数) 杉並区の子育て世代の方(夫、妻のみの参加でも可)ご夫婦1回定員10名、全3回開催(延べ人数 30名) | 1回目:2020年11月29日(日)10時から12時 参加人数:5人 2回目:2020年12月19日(土)14時から16時 参加人数:4人 3回目:2021年1月16日(土)10時から12時 参加人数:5人 |
| | ②実施内容 1、ワークショップ作成に当たり、有識者にご協力いただき、子育て、介護、仕事に関わるタスクの抽出を行う。 2、ワークショップの構成作り。 3、ワークショップの構成ができたのち、トライアルのワークショップを3回行う。 4、ワークショップの改善点の修正を行う。 | 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、オンラインでのワークショップ制作に向けて準備を行った。また、新型コロナウイルス感染拡大収束後に、オフラインのワークショップも開催できるように、ワークショップで使用する教材(カード、ボード)の制作も行った。 他、事業は計画通りに進んだ。 |
| | ③実施回数・スケジュール・実施場所 ワークショップの打ち合わせ場所:NPO法人こだまの集い事務所等 打ち合わせ回数:2020年6月~2021年2月にかけて計12回程度 ワークショップの実施場所:ウェルファーム杉並等、実施回数:2h×3回、 スケジュール:6月~10月にワークショップの構成、ワークショップ素材の作成。8月~広報、10月~12月の土日にワークショップを全3回実施。2021年1月~2月ワークショップの改善点の修正。 | 打ち合わせ・ワークショップの方法:全日程オンラインツールを用いて実施 打ち合わせ回数:全12回(7/29、8/13、8/25、9/17、9/25、10/13、11/16、11/20、12/9、1/8、1/22、2/8) ワークショップ開催:全3回(11/29、12/19、1/16) 2021年2月:オンラインワークショップ(β版)の構成完了、オフライン用のワークショップ教材・パンフレット作成完了 |
| | ④実施体制(実施方法や設備、従事者等の確保状況) プロジェクトメンバー5名で、ワークショップの構成を考えた後に、ワークショップを全3回実施。 ワークショップ当日は、主催団体、ファシリテーター、ワークショップ構成に関する担当者3名で運営を行い、各回の振り返りをもとに、ワークショップの構成の修正を行い、ワークショップ(β版)の完成を目指す。 | 《事前準備・当日のワークショップ運営》 ・ファシリテーター:1名(リー寿美子氏) ・ワークショップの構成担当: (株)and family 代表取締役 佐々木将人氏 ・ワークショップの運営管理:当法人 代表理事 室津瞳 《アドバイザー》 ・ダブルケアにおける男女の役割について:帝京大学 医療技術学部 看護学科 寺田由紀子氏 ・子育て・介護全般:一般社団法人Geny 保育所くまごぐま 森安元希氏 |
| | ⑤広報活動(活動や事業の周知・PRの状況) ・広報すぎなみの掲載 ・当法人のHP・SNS ・すぎなみ地域コム ・チラシ配布(地域センター、図書館等) | ・本事業のチラシを作成し、配布を実施(地域センター、図書館等) ・広報すぎなみの掲載 ・当法人のHP・SNS ・すぎなみ地域コム |

2 実施事業の効果・成果 及び 自己評価

| 事業計画時 | 事業実施後 |
|--|---|
| <p>当初予定したニーズがありましたか。新たな問題提起ができましたか。</p> | |
| <p>子育てが終わるまでに介護を経験している現役世代は、36.6%であるというデータが有る。子育てと介護の両立を目指す、《ダブルケア当事者》の潜在的な人数は多いことが予測されることから、子育て世代に向けた介護の啓発に対するニーズは一定数あると考える。</p> | <p>赤ちゃんの子育てを行っている方や地方在住の参加者の方より、オンラインのワークショップを定期的に開催してほしいというご希望が聞かれた。また、新型コロナウイルス感染状況が落ち着いた後に、オフラインでもワークショップを開催してほしいと参加者よりご希望の声を頂いた。このことから、本事業のニーズはあったと判断している。</p> |
| <p>【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ①あった <input type="checkbox"/> ②概ねあった <input type="checkbox"/> ③あまりなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどなかった</p> | |
| <p>団体や地域特性をどのように生かした活動になりましたか。</p> | |
| <p>当法人は、保育・介護の専門職を中心に構成されており、《ダブルケア》の両立を目指す具体的方法においては、知見を有していると考えている。今回のワークショップは、新型コロナウイルスの感染拡大防止を視野に、オンラインでもワークショップが開催できる方法を視野に作成していくものだが、杉並区を中心に広報を行い、可能な限り杉並区における《ダブルケア》に関するニーズを拾えるように、工夫を行っていく。</p> | <p>当団体は、子育てと介護が同時に重なった子育て世代に対する、啓発を行う団体である。本事業では、全国の子育て世代の方といざ子育てに介護が重なった時に、どのように考えるかというテーマで対話を行うことが出来た。このことから、当団体の特性を生かした事業ができたと考えている。</p> <p>また、参加者の方々との対話の中で、東京都と地方の《ダブルケア》の特性が異なることが見えてきた。例えば、杉並区民並びに東京都在住の方は、子育てに介護が加わった時点で、遠距離介護になるという意見が多かった点が印象的であった。来年度以降は、遠距離介護によりフォーカスを当てた、啓発を実施していく予定である。</p> |
| <p>【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ①できた <input type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった</p> | |
| <p>当初想定した「期待される効果」をあげることができましたか。</p> | |
| <p>1, ワークショップを通して、子育て世代に向けた介護の啓発を行い、いざ《ダブルケア》に直面した時に自身で気づくことが出来る。 2, 《ダブルケア》という状態を知り、早期に周囲にSOSを上げることで、助けてくれる人・制度といった社会資源と結びつき、子育てと介護、仕事の両立を目指せるきっかけ作りを目指す。</p> | <p>参加者の中から、以下のご感想を頂いた。 ・「《ダブルケア》という言葉が知らなかったが、他人事ではないという気持ちで参加した。ワークショップを通して、育児休暇中のうちから、介護も想定しておくだけでも、心の準備が違ふと思った。」 この様なご意見から、今回ワークショップの参加者の方が、いざ《ダブルケア》に直面した時に、自身で《ダブルケア》と気づくことが出来る可能性が高まったと考える。また、子育て、介護、仕事に関しては、周囲の専門家や制度をうまく活用する必要があるという点については、知って頂けルキ会を提供できたのではないかと考える。</p> |
| <p>【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ①できた <input type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった</p> | |
| <p>今回行った事業を通して、理解者や支援者は広まりましたか。</p> | |
| <p>本事業は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、本事業のワークショップ作成は、オンラインで体験できる構成とした。参加者の中から、ワークショップ(β版)が完成したら、来年度以降も参加したい。新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いた後、オフラインでもワークショップの体験をしたいという感想が聞かれた。このことから、当法人の活動に対する理解は広げることが出来たと考える。また、杉並区の地域包括支援センター(ケア24)にも、本事業で制作したワークショップのパンフレットと合わせて、当法人の活動についてご挨拶をさせて頂く文書を配布させて頂き、地域連携を深めていきたいと考えている。</p> | |
| <p>【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ①広がった <input type="checkbox"/> ②多少広がった <input type="checkbox"/> ③広がらなかった</p> | |

3 事業は当初の予定どおり実施できましたか。

| | |
|------|--|
| 自己評価 | 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、オンラインでのワークショップの制作を目指したが、無事にワークショップ(β版)の完成に至ったため、当初の想定していた流れで事業は完遂できたと考えている。同時に、今後のワークショップの展開に関しては、新型コロナウイルスの感染状況も踏まえながら、オフラインでもワークショップを開催できるように、ワークショップ教材の制作も実現できた点は、当初の計画に沿って事業を行えたものと判断している。次年度に関しては、状況に応じて、オンラインとオフラインの双方を上手く活用し、ワークショップの展開を目指していく。 |
| | 【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください <input checked="" type="checkbox"/> ①できた <input type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった |

4 「杉並区NPO支援基金」の普及啓発活動はできましたか。

| | |
|-------|---|
| 普及活動等 | ワークショップの開催に伴い、杉並区内にチラシを配布し、また当法人のHP・SNS等を活用し約5ヶ月に渡り、広報を展開してきた。更に、当法人は別途、2021年2月21日に開催された、東京都保健福祉局主催の(オンライン)「東京ホームタウン大学2021」に登壇し、本事業の取り組みに対する活動紹介を行っている。このことから、「杉並区NPO支援基金」でご支援を頂き、本事業を行ったことに関しては、杉並区内、または東京都並びに全国のご関心を頂いた方に対する周知できたものとする。 |
| | 【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください <input checked="" type="checkbox"/> ①できた <input type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった |

5 課題と今後の活動について

| | |
|---------|---|
| 今後の課題活動 | オンラインでのワークショップの開催という特性上、全国(九州、四国)からも参加者の参加見られたが、オンラインでのワークショップ開催の実現に関しては、基本的な形は完成したと考えている。来年度は、当法人の活動の柱の一つとして、本ワークショップを展開をさせていく予定である。また、参加者の方よりご希望のあった、オフラインでのワークショップ実現の可能性についても検討し、実施出来るように準備を進めていく。 |
|---------|---|

6 活動状況について











7 収支決算

| | | | | | |
|-----|-----|---------|-----|-----|---------|
| 事業費 | 【D】 | 397,110 | 助成金 | 【E】 | 389,000 |
|-----|-----|---------|-----|-----|---------|

| | 予算額 | | 決算額 | | 決算額内訳 |
|----|----------|-------------|-------------|--|------------|
| | | | | | |
| 収入 | 団体負担金 | 31,640 | | | 団体負担金 |
| | 参加費・資料代等 | | | | |
| | その他の収入 | .. | | | |
| | 計 | 【C】 31,640 | 【F】 8,110 | | 自己資金等 |
| | 助成金 | 【B】 389,000 | 【E】 389,000 | | NPO活動資金助成金 |
| | 合計 | 【A】 420,640 | 【D】 397,110 | | |

| | 予算額 | | 決算額 | | 決算額内訳 |
|-------------------------------|-------------|------------|-------------|-----------|---|
| | 助成金対象経費 | 自己資金等対象経費 | 助成金対象経費 | 自己資金等対象経費 | |
| ①謝礼金等 (講師が団体内部 の場合は対象外) | | | 198,000 | | 榊and family佐々木氏打合せ14h+ワークショップ2回×2h=18h×11,000 |
| | | | 63,000 | 7,000 | リー氏 打ち合わせ4h+ワークショップ3回×2h=10h×7,000円 |
| | | | 9,000 | | 帝京大学助教 寺田由紀子氏 2h×9,000円 |
| | 小計 | 270,000 | | 270,000 | 7,000 |
| ②旅費・交通費 | | | | | |
| | 小計 | 31,640 | | | |
| ③備品費・消耗品費 | | | 36,895 | | 試作品用・β版用(紙、カードの加工費等) |
| | | | 8,880 | 987 | 文房具 |
| | | | 8,660 | | インク代 |
| | 小計 | 54,000 | | 54,435 | 987 |
| ④通信運搬費 | | | 4,688 | | 郵送料(パンフレット、ワークショップ素材) |
| | 小計 | 5,000 | | 4,688 | |
| ⑤印刷製本費 (デザイン・原 稿作成含む) | | | 60,000 | | パンフレット・チラシ作成(デザイン料込)500部ずつ |
| | 小計 | 60,000 | | 60,000 | |
| ⑥使用料・賃借料 | | | | | |
| | 小計 | | | | |
| ⑦その他の経費 | | | | | |
| | 小計 | | | | |
| 合計 | | | 389,123 | 7,987 | |
| | | | | 123 | 交付済助成金と助成金対象経費合計額との差額 |
| | 【B】 389,000 | 【C】 31,640 | 【E】 389,000 | 【F】 8,110 | |
| | 【A】 420,640 | | 【D】 397,110 | | |

☆ 注意事項 1.単価が10万円を超える物品は、見積書等を添付してください。2.団体運営のための継続的な経費は助成対象外とします。

助成金対象事業報告書(令和2年度)

| | |
|------------|--|
| 団体名 | 特定非営利活動法人 すぎなみ子どもサポート |
| 事業名 | 地域学習推進事業(プロによる中学生の排球指導) |
| 事業(該当区分に○) | ①. スタートアップ事業 2. ステップアップ事業 |
| 事業概要 | 部活動が縮小し、中学生の文化・スポーツ活動を地域が担うようになる流れの中、そのパイオニアとなるべく、まずはバレーボールの合理的で質の高い練習を提供します。それを公開し、地域の方々や保護者もボランティアや観客として参加することで、今後の部活動見守り等に繋げられるよう「地域が支える学校」の裾野を広げる一助とします。 |
| 事業目的 | 部活動は無料でスポーツ・文化活動に参加出来る公平で貴重な機会です。その縮小は、家計事情による学習機会格差を生むものです。その補完のためのモデル作りをするため、回数が少なくとも、合理的な練習方法が身につく機会、人数がいないと成立しない試合形式の練習の機会を提供します。 |

1 事業の実施状況 及び 自己評価

| | 事業計画 | 事業実施結果 |
|------------------|---|--|
| 実 施 状 況 | ①実施対象者・対象人数(延べ人数) A: 区内中学生を対象・個人参加・延べ120名参加予定(ボランティア等延べ80名参加予定) B: 参加生徒の学校バレーボール部対象・延べ90名参加予定 | A: 向陽中、松ノ木中、高井戸中、松溪中の生徒 延べ36名参加(ボランティア、見学者 延べ23名) B: 向陽中学校バレーボール部の生徒12名 |
| | ②実施内容 A: V.B.TOKYOの高橋寛記氏(元FC東京Jr.監督)、松浦麻琴氏(元女子日本代表)が指導にあたる合同練習 B: Aに参加をした成果を部活動の場でフォローする | A: V.B.TOKYOの高橋寛記氏(元FC東京Jr.監督)、鈴木裕子(元デンソー、デンソーエアリービーズ在籍)が指導し合同練習 B: 向陽中学校の部活動訪問 |
| | ③実施回数・スケジュール・実施場所 A: 夏休み2回 7月9:00~11:00 第1回終了後ミニ懇談会実施(地域の方々等30名と一緒に)冬休み1回 10:00~12:00 2月中の日曜日1回10:00~12:00 向陽中学校体育館 B: 日時は未定(各学校の部活動の時間) 参加生徒の学校体育館 | A: 1回目2020年8月23日14:00~16:00 2回目2020年8月29日9:00~11:00 場所 向陽中学校体育館 ※予定が変わってしまった理由は、コロナ禍のために学校との調整が付かなかつたため ※ミニ懇談会は密を避けるべく中止 ※3回目を2021年1月10日、4回目を2021年2月7日または14日に予定していたが緊急事態宣言のため中止 B: 向陽中学校バレーボール部の訪問レッスン1回 2020年12月17日15:50~17:50 ※1月以降に予定していた他校は、緊急事態宣言のため中止 |
| | ④実施体制(実施方法や設備、従事者等の確保状況) A: 参加募集は向陽中学校担当教員を窓口として各校に案内 コーチ2名 受付・動画撮影等ボランティア8名 ミニ懇談会調理ボランティア5名 記録係2名 行事保険は主催者が付保 B: コーチ1名 記録係2名 付保せず(部活動の一環につき) | A: 参加募集は向陽中学校校長先生を窓口にした。だき、チラシを配布した コーチ2名 コーチ補助2名 受付・動画撮影等ボランティア2名 ミニ懇談会調理ボランティア1名 記録係2名 付保 B: コーチ1名 付保せず |
| | ⑤広報活動(活動や事業の周知・PRの状況) チラシ配布・団体WEBサイト・SNS・広報すぎなみ・すぎなみ地域コム | 参加したくなるようなチラシを制作し配布した。その他、広報すぎなみ・すぎなみ地域コム |

2 実施事業の効果・成果 及び 自己評価

| | 事業計画時 | 事業実施後 |
|---|---|--|
| 効果・成果 及び 自己評価 | 当初予定したニーズがありましたか。新たな問題提起ができましたか。 | |
| | 生徒数減少・顧問不足・教員の働き方改革から部活動が縮小して来ているのが実情です。向陽中学校が含まれる第3分区に於いても、6校中3校からバレーボール部が無くなりました。その現状をふまえ、「試行」として去る2019年12月22日(日)に「わくわくレッスン」を行い、教員や生徒の声を聴き実施に踏み出すこととしました。 | 合同練習が半分、部活動訪問レッスンに至っては1回しか出来ませんでした。しかしながら、参加した生徒の保護者より、改めて指導者不足の実態が語られ、合同練習の必要性を感じた。参加生徒からは、継続実施を求める声が多く出た。 |
| | 【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください | |
| | <input type="checkbox"/> ①あった <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねあった <input type="checkbox"/> ③あまりなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどなかった | |
| | 団体や地域特性をどのように生かした活動になりましたか。 | |
| | 会員には民生児童委員・学校地域コーディネーター等地域活動の担い手が多く居ます。発足時からの事業である「子ども食堂」や「学習支援の会」では地域の主婦や保護者・シニアの方々を巻き込んで、軌道に乗せて来ました。細って行く部活動を、培ってきたパイプを生かして、コーチを発掘し地域力を更に高めながらカバーしていきます。 | パイプを生かして、コーチの確保が出来、色んな方々にお手伝いに来てもらった。 |
| | 【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください | |
| | <input type="checkbox"/> ①できた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった | |
| | 当初想定した「期待される効果」をあげることができましたか。 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・回数を重ねることで関わる人達が増えます。結果、“生徒のために”地域各方面の方々が集まってきて、コミュニティの再生が始まります。 ・生徒が、部活動に活かせるアクティブラーニング的練習方法を身に付けられる。 ・バレーボール部の無い学校の生徒にもバレーボールをする機会を提供出来る。 ・生徒が、ティーチングではなくコーチングによる指導を受けられます。 ・回数を重ねることができ、結果、実施しながら改良を続け、練習方法も確立します。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒たちのアンケートを見ると、「練習の中で頭を使うことや気が付くことが多かった」や「普段の部活動でやらない事や初めてやる事があって、、、」などという言葉があったので、生徒達にとっては期待した効果はあったものと思われる。 |
| 【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください | | |
| <input type="checkbox"/> ①できた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった | | |
| 今回行った事業を通して、理解者や支援者は広まりましたか。 | | |
| 教員OBや地域の人々が球拾いや写真撮影をし、皆が支えてくれることを生徒が実感した。また、複数の保護者が見学に来てくれたことで、その人達に活動を知ってもらえ、理解を得られた。 | | |
| 【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください | | |
| <input type="checkbox"/> ①広がった <input checked="" type="checkbox"/> ②多少広がった <input type="checkbox"/> ③広がらなかった | | |

3 事業は当初の予定どおり実施できましたか。

| | |
|------|---|
| 自己評価 | コロナ禍の中、部活動が続けることも困難な上に、いろんな学校の生徒や地域の人達が集まって実施することは出来ませんでした。 |
| | 【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください <input type="checkbox"/> ①できた <input type="checkbox"/> ②概ねできた <input checked="" type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった |

4 「杉並区NPO支援基金」の普及啓発活動はできましたか。

| | |
|-------|---|
| 普及活動等 | テラシにロゴを入れ、のぼりを立て募金箱を置きました。 |
| | 【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください <input type="checkbox"/> ①できた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった |

5 課題と今後の活動について

| | |
|----------|---|
| 今後の課題と活動 | 各中学校のバレーボール部の顧問の先生に、もう少し協力をしてもらうためにはどうしたら良いか工夫が必要。 次回は部の顧問会で説明して貰うと共に、事前に足で各校を回ることにしたい。とにかく実績を作ることが大事だと思う。 |
|----------|---|

6 活動状況について

★具体的な活動風景の写真などを貼付



7 収支決算

| | | | | | |
|-----|-----|---------|-----|-----|--------|
| 事業費 | [D] | 131,671 | 助成金 | [E] | 80,000 |
|-----|-----|---------|-----|-----|--------|

| | 予算額 | | 決算額 | | 決算額内訳 |
|----------|-----|---------|-----|---------|--------------------|
| | | | | | |
| 団体負担金 | | 82,500 | | 44,671 | 団体負担金 |
| 参加費・資料代等 | | 60,000 | | 7,000 | 参加費 @500×14名(初回無料) |
| その他の収入 | | | | | |
| 計 | [C] | 142,500 | [F] | 51,671 | 自己資金等 |
| 助成金 | [B] | 224,000 | [E] | 80,000 | NPO活動資金助成金 |
| 合計 | [A] | 366,500 | [D] | 131,671 | |

| 費目 | 予算額 | | 決算額 | | 決算額内訳 | |
|-------------------------------|---------|-----------|---------|-----------|-----------------------------------|--------|
| | 助成金対象経費 | 自己資金等対象経費 | 助成金対象経費 | 自己資金等対象経費 | | |
| ①謝礼金等 (講師が団体内部 の場合は対象外) | | | 32,000 | | バレーボール指導謝礼 @8,000/時間×2時間×1名 8/23 | |
| | | | 32,000 | | バレーボール指導謝礼 @8,000/時間×2時間×1名 8/29 | |
| | | | 16,000 | | バレーボール指導謝礼 @8,000/時間×2時間×1名 12/17 | |
| | 小計 | 224,000 | 80,000 | | | |
| ②旅費・交通費 | | | | | | |
| 小計 | | | | | | |
| ③備品費・消耗品費 | | | | | | |
| 小計 | | | | | | |
| ④通信運搬費 | | | | | | |
| 小計 | | | | | | |
| ⑤印刷製本費 (デザイン・原 稿作成含む) | | | | | | |
| 小計 | | 30,000 | | | | |
| ⑥使用料・賃借料 | | | | | | |
| 小計 | | | | | | |
| ⑦その他の経費 | | | | 3,480 | 行事保険 @58×30名×2日 | |
| | | | | 41,900 | 衛生対策保護用品(タオル) @419円×100枚 | |
| | | | | 4,001 | 熱中症対策飲料 | |
| | 小計 | | 112,500 | 51,671 | コーチとの打合せ茶代 | |
| 合計 | | | 80,000 | 51,671 | | |
| | [B] | 224,000 | [C] | 142,500 | [E] | 80,000 |
| | [A] | 366,500 | [D] | 131,671 | [F] | 51,671 |
| | | | | 144,000 | 交付済助成金と助成金決算額との差額 | |

☆ 注意事項 1.単価が10万円を超える物品は、見積書等を添付してください。2.団体運営のための継続的な経費は助成対象外とします。

助成金対象事業報告書(令和2年度)

| | |
|------------|---|
| 団体名 | 特定非営利活動法人サービスフロンティア |
| 事業名 | 杉並に伝わる昔話を子供向けに仕立てた紙芝居制作講座 |
| 事業(該当区分に○) | 1. スタートアップ事業 <input checked="" type="radio"/> 2. ステップアップ事業 |
| 事業概要 | 口演活動を通じ子供達並びに保護者の方々に接し、紙芝居のニーズ(筋書き、音声の高低、抑揚等の効果)が高まりつつある事を感じたので、紙芝居を制作、演じる人を育成し「すかい」の後継者を作る。物語の起承転結の決め方、情景の表現方法の仕方(作画、心情)、色彩などのコツを伝えたい。同じ物語でも視点等を変えて制作すると紙芝居に幅が出来、口伝芸術である紙芝居の面白さが分かる。 |
| 事業目的 | ①杉並に伝わる昔話(33話)を後世に伝えたい。 ②地域に伝わる昔話を知れば愛着心を感じる子供たちが増え、やがて地域を支える人材に成長する。 ③「すかい」の後継者育成。 |

1 事業の実施状況 及び 自己評価

| | 事業計画 | 事業実施結果 |
|------------------|--|---|
| 実 施 状 況 | ①実施対象者・対象人数(延べ人数) 定員20名で募集、1グループ4~5名で1話を協働で作成 | 講座開講に当たり毎回来場時、手指の消毒、検温をする。 受講生23名で開講 4グループに分け、メンバーはほぼ同じ地域の受講生とし、その地域の昔話を制作する事を望んだ。 Aグループ(6名) Bグループ(5名) Cグループ(6名) Dグループ(6名) |
| | ②実施内容 選んだ題材(昔話)のストーリーを分割し、鉛筆で下絵マーカーで輪郭描き、色塗り、セリフ検討、読み方練習を全7回で修了、8回目は成果発表会。 | 選んだ題材 Aグループ:「タヌキの恩返し」 Bグループ:「キツネの仇討」 Cグループ:「親孝行の泉」 Dグループ:「ぼたもち地蔵」 講座スタート |
| | ③実施回数・スケジュール・実施場所 全8回の講座で阿佐谷地域区民センター集会所で行う予定。 | 第1回 10月17日 区民センター 第5集会室 第2回 10月31日 区民センター 第8集会室・交流コーナー 第3回 11月 7日 区民センター 第6集会室 第4回 11月21日 区民センター 第2集会室・第5集会室 第5回 12月 5日 産業商工会館 展示室 第6回 12月19日 区民センター 第2集会室・第8集会室 第7回 1月16日 梅里区民集会所 第1・第2集会室 第8回 2月13日 産業商工会館 展示室 |
| | ④実施体制(実施方法や設備、従事者等の確保状況) 専任講師1名、補助スタッフ1~2名すかいメンバーで開講。 | 講座中は密にならない様、個々への会話説明をなるべく避けるため予め当日の作業の内容とポイントをレジメとして配布をしたのでスタッフも共通の認識で授業が進む。 開講日によっては会場を2つに分けて行ったが、事前のレジメを配布したのでスムーズに進められた。 |
| | ⑤広報活動(活動や事業の周知・PRの状況) ・「広報すぎなみ」、「ぼらんて」に募集記事掲載、 ・区民センター、図書館、児童館に募集ポスター、フライヤーを配布 | 9月半ばからTEL.FAXなどで7~8名の応募が入るようになり、10月1日発行の「広報すぎなみ」に記事が載ると10月3日時点で24名の応募があり、その時点で締め切る。 |

2 実施事業の効果・成果 及び 自己評価

| | | 事業計画時 | 事業実施後 |
|---|---|--|--|
| 効果・成果 及び 自己評価 | 当初予定したニーズがありましたか。新たな問題提起ができましたか。 | | |
| | | 杉並に伝わる昔話を知る事によりその地域(自分の住んでいる地域)がより身近になり愛着心が生まれ、多くの人に伝える人材を増やしたいと考える。 | グループ分けする時、ほぼ同じ地域の人で構成した結果題材を選ぶ時から意見が合ったのか、制作がスムーズにはかどった。 |
| | 【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください | | |
| | <input type="checkbox"/> ①あつた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねあつた <input type="checkbox"/> ③あまりなかつた <input type="checkbox"/> ④ほとんどなかつた | | |
| | 団体や地域特性をどのように生かした活動になりましたか。 | | |
| | | 過去10年間「すかい」が行ってきた各地域での紙芝居を通じてのボランティア活動の意義やその効果を説明し理解を求める。 | 昔話のストーリーを自分で構成し、絵を描き、セリフを考え人前で演じる楽しさを理解して貰えた。 |
| | 【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください | | |
| | <input type="checkbox"/> ①できた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった | | |
| | 当初想定した「期待される効果」をあげることができましたか。 | | |
| | | 当初の「期待される効果」は ①「すかい」のメンバー育成により活動の場を広げる。 ②杉並の昔話(33話)を幅広く周知。 | 講座修了後13名の方が今後も継続して紙芝居制作をする意向を示す。 |
| 【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください | | | |
| <input type="checkbox"/> ①できた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった | | | |
| 今回行った事業を通して、理解者や支援者は広まりましたか。 | | | |
| | 理解者や支援者は広まった。 受講した13名の方が継続して紙芝居制作、口演に携わる事になり、後日改めて集まりを設けて活動を支援する。 | | |
| 【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください | | | |
| <input type="checkbox"/> ①広がつた <input checked="" type="checkbox"/> ②多少広がつた <input type="checkbox"/> ③広がらなかつた | | | |

3 事業は当初の予定どおり実施できましたか。

| | |
|------|---|
| 自己評価 | 講座の進行などで、密を避けるため講座会場を二つに分けざるを得ない日もあり、授業進行が統一出来ず、遅れ気味だったが受講生が自主的に自宅で作業をし制作日最後ギリギリで間に合わせる。その結果、成果発表会での出来映えは4グループとも良く出来た。 |
| | <p>【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</p> <p> <input type="checkbox"/> ①できた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった </p> |

4 「杉並区NPO支援基金」の普及啓発活動はできましたか。

| | |
|-------|---|
| 普及活動等 | 普及啓発活動は出来たと思います。開講初日受講料(1000円)を徴収する際、「そんなに安くて良いのですか」との声もあり、開講の挨拶の時、「この授業はNPO支援基金」の助成で成り立っている旨を説明したので、募金箱に自主的に募金して貰いました。 |
| | <p>【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</p> <p> <input type="checkbox"/> ①できた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった </p> |

5 課題と今後の活動について

| | |
|----------|--|
| 今後の課題と活動 | 継続して紙芝居活動に参加希望の13名の人とは定期的に会合を設け今回の講座の様な方法で制作のお手伝いをする予定。そして「すかい」のメンバーとして定期口演にも参加してもらおう。 |
|----------|--|

6 活動状況について

★具体的な活動風景の写真などを貼付



7 収支決算

| | | | | | |
|-----|-----|---------|-----|-----|---------|
| 事業費 | [D] | 278,879 | 助成金 | [E] | 179,779 |
|-----|-----|---------|-----|-----|---------|

| | 予算額 | | 決算額 | | 決算額内訳 |
|----------|-----|---------|-----|---------|------------------------|
| | | | | | |
| 収入 | | | | | |
| 団体負担金 | | 50,000 | | 76,100 | |
| 参加費・資料代等 | | 20,000 | | 23,000 | 受講料 1,000円X23名=23,000円 |
| その他の収入 | | | | | |
| 計 | [C] | 70,000 | [F] | 99,100 | 自己資金等 |
| 助成金 | [B] | 300,000 | [E] | 179,779 | NPO活動資金助成金 |
| 合計 | [A] | 370,000 | [D] | 278,879 | |

| | 予算額 | | 決算額 | | 決算額内訳 |
|-----------------------------|-------------------------------|------------|-------------|------------|--|
| | 助成金対象経費 | 自己資金等対象経費 | 助成金対象経費 | 自己資金等対象経費 | |
| 支出 | | | | | |
| | ①謝礼金等 (講師が団体内部 の場合は対象外) | | | 64,000 | 田中講師 64,000円 |
| 小計 | 144,000 | | 64,000 | | |
| ②旅費・交通費 | | 50,000 | | 47,000 | 田中講師 47,000円 |
| 小計 | | 50,000 | | 47,000 | |
| ③備品費・消耗品費 | | | 25,287 | | 10/12 ヨシダ 10,374円 10/17 ヨシダ 7,040円 10/16 サンドラッグ 7,873円 |
| 小計 | 24,000 | | 25,287 | | |
| ④通信運搬費 | | | | | |
| 小計 | | | | | |
| ⑤印刷製本費 (デザイン・原 稿作成含む) | | 20,000 | 48,400 | | (株)アイアンドアイ 42350円・6,050円 講座資料コピー代 1,280 336 260 1386 520 220 250 200 500 250 1,500 200 700 1,840 650 コピー代合計 10,092円 |
| 小計 | 70,000 | 20,000 | 58,492 | | |
| ⑥使用料・賃借料 | | | | 29,100 | 10/17 3,700 10/31 3,100 11/7 3,300 11/21 4,700 12/5 3,900 12/19 4,500 1/16 2,800 2/13 3,100 |
| 小計 | 24,000 | | | 29,100 | |
| ⑦その他の経費 | 32,000 6,000 | | 32,000 | | ボランティア費 A 12,000 B 12,000 C 8,000 |
| 小計 | 38,000 | | 32,000 | | |
| 合計 | | | 179,779 | 76,100 | |
| | [B] 300,000 | [C] 70,000 | [E] 179,779 | [F] 99,100 | 交付済助成金と助成金決算額との差額 |
| | [A] 370,000 | | [D] 278,879 | | |

☆ 注意事項 1.単価が10万円を超える物品は、見積書等を添付してください。2.団体運営のための継続的な経費は助成対象外とします。

助成金対象事業報告書(令和2年度)

| | |
|------------|---|
| 団体名 | NPO法人 すぎなみ子育てひろばchouchou |
| 事業名 | 赤ちゃんカフェ |
| 事業(該当区分に○) | 1. スタートアップ事業 <input checked="" type="radio"/> 2. ステップアップ事業 |
| 事業概要 | 妊娠中の方及び0歳児親子に特化した親子のひろばとして週1回2時間開催する。利用者同士の情報交換、スタッフとの何気ない会話、他のお子さんとのふれあい、お茶タイムなどを通じて、ママの育児への不安や孤独感を少しでも和らげることが出来ることをめざす事業。 |
| 事業目的 | 主な対象である0歳児親子の赤ちゃん和妈妈がゆったりと過ごすことのできる居場所を提供する。ママの気持ちに寄り添いリラックスできる空間となることで、お母さんの育児への不安をすこしでも和らげることにつなげたい。 |

1 事業の実施状況 及び 自己評価

| | 事業計画 | 事業実施結果 |
|------------------|---|--|
| 実 施 状 況 | ①実施対象者・対象人数(延べ人数) 0歳児親子及び妊婦 1回10組前後。定員を超える場合は「つどいの広場」を案内する。 | コロナ禍で事業休止の場合は、これまで参加してくださった方へ往復ハガキを送り、近況をお知らせしてもらった。 7月からは人数制限他、感染症対策を行い実施。7～2月の期間中248組の参加があった。パパの参加はあったものの、妊婦の参加はなかった。 |
| | ②実施内容 予約不要でふらっと来ることのできる0歳児親子専用のひろばで妊婦さんも歓迎。お茶と焼きたてクッキーと共にゆっくりと会話を楽しんだり、情報交換など自由に過ごす。 スタッフは必要に応じてママ同士をつなげたり、簡単な相談に応じ、他のサービスの紹介。 さらにプチ講座「抱っことおんぶ」を場所を増やして定期的に開催。 | 7月から事業を再開し、楽しみにしていたママたちと再び顔を合わせることができた。 感染症予防で飲食を控えたため、お茶やクッキーの提供ができない代わりに、育児相談や栄養相談、抱っこ紐講座を充実させた。その中でもプレリミックは人気があったため、ひろばとオンラインで繋ぎ、多くの親子に癒しの空間を提供できた。 ママたちは久しぶりに子どもの成長を共有したり、大人同士で会話ができたことで笑顔が沢山見られた。 |
| | ③実施回数・スケジュール・実施場所 毎週水曜日(祝日を除く) 第1.4水曜日 10:00～12:00 第2.3水曜日 13:00～15:00 場所 6～12月 お茶の間ひろば茶ちゃ 1～2月 杉並会館 その他プラザ天沼で月1回の講座 | 7～12月 左記日程でお茶の間ひろば茶ちゃ 1～2月 9:30～11:30で杉並会館 合計33回開催。 9月までは先着8組、10月からは先着10組で行い、プレリミックは予約制とした。 プラザ天沼は使用不可のため開催できず。 |
| | ④実施体制(実施方法や設備、従事者等の確保状況) 常にスタッフ3～4名。 企画運営、当日受付、親子の見守り、クッキー準備などにあたる。 | 感染症予防で飲食不可となったため、クッキーと飲み物は提供できなかった。 4名のスタッフでシフトを組み、毎回3名で活動した。 スタッフの体調管理と感染対策、換気を徹底し、親子が安心して参加できるよう務めた。 |
| | ⑤広報活動(活動や事業の周知・PRの状況) 団体のwebサイト、Facebook、チラシの掲示や配布で周知。 | 団体webサイト、Facebookでの周知と、区掲示板ででんごんぐんへの掲示を行った。 また、産前産後ヘルパーで活動するスタッフや保健所からの紹介もあり、新規で72組の参加があった。 |

2 実施事業の効果・成果 及び 自己評価

| | | 事業計画時 | 事業実施後 |
|---|---|---|-------|
| 効果・成果 及び 自己評価 | 当初予定したニーズがありましたか。新たな問題提起ができましたか。 | | |
| | 初めての育児に不安や孤独を感じている0歳児親子専用のひろばとしてスタートした。昨年、助成金を活用し、抱っこ紐講座を開催したところ好評だった。この講座が本事業利用のきっかけになると思われ、他の地域でも展開したい。 | 活動自粛の中、口コミや掲示板を見て、参加する親子が多かった。多胎児親子やパパの参加もあった。癒しの場としてのアピールポイントだったお茶とクッキーの提供ができなかったため、相談や講座を充実させたところ、とても好評だった。当団体の都合により、期間の後半、開催場所や時間が変更となったが、スムーズに移行できた。他地域への展開と妊婦への周知ができなかったのが今後の課題。 | |
| | 【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください | | |
| | <input type="checkbox"/> ①あつた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねあつた <input type="checkbox"/> ③あまりなかつた <input type="checkbox"/> ④ほとんどなかつた | | |
| | 団体や地域特性をどのように生かした活動になりましたか。 | | |
| 「地域で子育て」を基本理念とし、地域の身近な存在として支えになっている団体である。高齢出産や核家族、育児休暇中の母親が増えている中、地域や他の人との繋がりを求める親子の安らぎの場としたい。 | コロナ禍で出産も育児も家族だけで行ってきた方が多く、赤ちゃんカフェに参加して、久しぶりに大人と会話できて嬉しかった。「赤ちゃんの成長を皆と共有できて安心した」という声を聞いた。また、団体の他の活動(産前産後ヘルパー、一時預かり、つどいの広場)との連携をとることで、地域との繋がりをつくる役割を担うことができた。 | | |
| 【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> ①できた <input type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった | | | |
| 当初想定した「期待される効果」をあげることができましたか。 | | | |
| 子育てから起きるストレスや閉塞感から解放される。様々な月齢の赤ちゃんに触れ合うことで、参加者皆で喜びを共有できる。妊婦には赤ちゃんと接したり、話をするすることで、育児のイメージを抱きやすくなる。広くニーズに応えるため。開催場所を拡大する。 | 利用人数を制限するなかで、相談や講座のテーマを選んで参加する親子も多く、ストレスをうまく発散できたのではと思われる。参加の赤ちゃんが第二子、三子という親子も増え、育児相談の場面では上の子のことを聞く場面も多くみられた。第一子の親子にとっては色々な情報を共有でき、安心感につながった。今回は妊婦の利用に繋げることができなかった。 | | |
| 【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください | | | |
| <input type="checkbox"/> ①できた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった | | | |
| 今回行った事業を通して、理解者や支援者は広まりましたか。 | | | |
| コロナ禍で活動自粛の雰囲気が社会にある中でも、居場所を求める親子がとても多いことがわかった。相談や講座にご講師として協力してくださる方が多く、地域で支えようという動きがみられた。今後も色々な分野に広げていきたい。 | | | |
| 【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> ①広がつた <input type="checkbox"/> ②多少広がつた <input type="checkbox"/> ③広がらなかつた | | | |

3 事業は当初の予定どおり実施できましたか。

| | |
|------|---|
| 自己評価 | 7月から、人数制限、飲食不可の開催で、予定通りにはできなかった。 しかし、相談や講座を充実させたり、癒しの場を提供することで、0歳児親子のニーズに応えることができた。 |
| | <p>【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</p> <p> <input type="checkbox"/> ①できた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった </p> |

4 「杉並区NPO支援基金」の普及啓発活動はできましたか。

| | |
|-------|---|
| 普及活動等 | ホームページやチラシには必ず記載するほか、ポスターを掲示し、啓発に務めた。また、団体が杉並区健康づくり表彰で最優秀になったことで、区やケーブルテレビから取材を受けることもあり、より周知できた。 |
| | <p>【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> ①できた <input type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった </p> |

5 課題と今後の活動について

| | |
|----------|--|
| 今後の課題と活動 | 相談や講座を充実させるだけでなく、親子がゆっくりできる場所として何が必要か、今後も情報収集を行ってきたい。 いずれは、コロナ禍以前にメイン活動として行っていたお茶やクッキーの提供を復活させたい。 |
|----------|--|

6 活動状況について

★具体的な活動風景の写真などを貼付



7 収支決算

| | | | | | |
|-----|-----|---------|-----|-----|---------|
| 事業費 | [D] | 350,705 | 助成金 | [E] | 126,905 |
|-----|-----|---------|-----|-----|---------|

| | 予算額 | | 決算額 | | 決算額内訳 |
|----|----------|-------------|-------------|--|-----------------------------------|
| | | | | | |
| 収入 | 団体負担金 | 60,000 | 75,300 | | |
| | 参加費・資料代等 | 210,000 | 148,500 | | 199組×500円(7月～12月)49組×1000円(1月～2月) |
| | その他の収入 | | | | |
| | 計 | [C] 270,000 | [F] 223,800 | | 自己資金等 |
| | 助成金 | [B] 140,000 | [E] 126,905 | | NPO活動資金助成金 |
| | 合計 | [A] 410,000 | [D] 350,705 | | |

| | 予算額 | | 決算額 | | 決算額内訳 |
|-------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------------|
| | 助成金対象経費 | 自己資金等対象経費 | 助成金対象経費 | 自己資金等対象経費 | |
| ①謝礼金等 (講師が団体内部 の場合は対象外) | | | 63,479 | | 講師謝礼3,341円×19回 |
| | | | 25,055 | | 講師謝礼5011円×5回 |
| | | | 2,000 | | 講師謝礼2000円×1回 |
| | 小計 | 33,000 | 90,534 | | |
| ②旅費・交通費 | | | | | |
| | 小計 | 5,500 | | | |
| ③備品費・消耗品費 | | | 1,170 | 19,800 | パソコン |
| | | | 811 | | 収納バッグ・タオル等 |
| | 小計 | 90,300 | 1,981 | 19,800 | 名前シール・折り紙 |
| ④通信運搬費 | | | 15,120 | | 往復はがき |
| | 小計 | | 15,120 | | |
| ⑤印刷製本費 (デザイン・原 稿作成含む) | | | 9,470 | | プリンター用紙・インク |
| | 小計 | | 9,470 | | |
| ⑥使用料・賃借料 | | | 9,800 | | 会場費 |
| | 小計 | 11,200 | 9,800 | | |
| ⑦その他の経費 | | | | 204,000 | スタッフ人件費 |
| | 小計 | | 270,000 | 204,000 | |
| 合計 | | | 126,905 | 223,800 | |
| | [B] 140,000 | [C] 270,000 | [E] 126,905 | [F] 223,800 | 交付済助成金と助成金決算額との差額 |
| | [A] 410,000 | | [D] 350,705 | | |

☆ 注意事項 1.単価が10万円を超える物品は、見積書等を添付してください。2.団体運営のための継続的な経費は助成対象外とします。

助成金対象事業報告書(令和2年度)

| | |
|------------|---|
| 団体名 | 認定特定非営利活動法人スマイリングホスピタルジャパン |
| 事業名 | 重症心身障がい児の学びサポート事業 |
| 事業(該当区分に○) | 1. スタートアップ事業 <input type="radio"/> 2. ステップアップ事業 <input checked="" type="radio"/> |
| 事業概要 | 医療的ケアや重い障がいのために在宅医療を受ける子どもへの学習の機会と質を補うことを目的に、学習支援ボランティアが対象児の家庭に訪問し、個別のニーズに合わせた手作りの教材やICTなどの支援機器を使い、主体的な学習の機会を作っている。 |
| 事業目的 | 医療的ケアや重い障がいのために在宅医療を受ける子どもへの学習の機会と質を補うこと。 |

1 事業の実施状況 及び 自己評価

| | 事業計画 | 事業実施結果 |
|------------------|--|---|
| 実 施 状 況 | ①実施対象者・対象人数(延べ人数) ・対象者:東京都立永福学園在籍または卒業した重症心身障がい児 ・対象人数(延べ人数):54人 | ・対象者:東京都立永福学園在籍または卒業した重症心身障がい児 ・対象人数(延べ人数):50人 |
| | ②実施内容 主な学習内容 ・基礎学習:教科学習の土台となるもの。探索・操作、手段-目的、弁別、構成学習など ・コミュニケーション支援:状況把握や受信・発信手段の確保を支援する。 ・教科学習:一人一人の興味や関心にあった教科の学習を提供する。 | 主な学習内容 ・基礎学習:教科学習の土台となるもの。探索・操作、手段-目的、弁別、構成学習など ・コミュニケーション支援:状況把握や受信・発信手段の確保を支援する。 ・教科学習:一人一人の興味や関心にあった教科の学習を提供する。 |
| | ③実施回数・スケジュール・実施場所 実施回数:2020年6月~2021年2月 1人月1回×6名 1回2時間 年間計54回 実施場所:利用者宅 | 別添資料1「SHJ学びサポート活動実績」参照 |
| | ④実施体制(実施方法や設備、従事者等の確保状況) 実施責任者1名 学習支援ボランティア6名 会計1名 | 実施責任者1名 学習支援ボランティア6名 会計1名 |
| | ⑤広報活動(活動や事業の周知・PRの状況) 団体WEBサイト・SNS・すぎなみ地域コム | 団体WEBサイト・SNS・すぎなみ地域コム・新聞記事掲載(東京新聞・毎日新聞) |

2 実施事業の効果・成果 及び 自己評価

| | 事業計画時 | 事業実施後 |
|--|---|--|
| 効果・成果 及び 自己評価 | 当初予定したニーズがありましたか。新たな問題提起ができましたか。 | |
| | 障がい重い場合、支援者による学習環境の整備や内容の精選が難しく、学習自体が停滞することも多い。既存の制度での、このような状況の改善には、教育課程の変更、教職員増員など大掛かりな改革が必要であり難しいこと、また、個別の学習支援に対するご本人・保護者から希望の声が日頃から多く、学校評価アンケートでもその充実の要望が多く出されていることから、そのニーズに応えていきたいと思い本事業を実施しようと考えた。 | 個別の学習支援に対するご本人・保護者から希望の声が多く、対象者に個別の学習の機会を提供するのはもちろんのこと、活動において培った学習環境の整備や教材の工夫を当事者や支援者が利用できるように団体ホームページにて活動報告やnote.comにて教材製作や支援の工夫について情報発信した。 また、対象者は教材の共同開発者として位置付け、写真や動画の使用許可をもらい、冊子やWEBにて活動の様子や教材の使い方などの紹介時に使用した。 |
| | 【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> ①あった <input type="checkbox"/> ②概ねあった <input type="checkbox"/> ③あまりなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどなかった | |
| 団体や地域特性をどのように生かした活動になりましたか。 | | |
| 杉並区には、重症心身障がい児が在籍する東京都立永福学園肢体不自由教育部門があり、本事業が対象とする児童・生徒も多く在籍している。 | 本事業が対象とする児童・生徒も多いため、希望者も多く今後支援員を増やして対応する必要がある。 | |
| 【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> ①できた <input type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった | | |
| 当初想定した「期待される効果」をあげることができましたか。 | | |
| ・効果：東京都立永福学園在籍または卒業した重症心身障がい児のうち、年度目標6名に対し、学習時間の補完、学習環境の最適化、学習内容の充実を図ることが期待できる。 ・達成目標：助成期間中、月1回、計9回の学習支援を6名に行う。年間計54回実施。 ・到達点：障がいの重い方々が学習を通して自らの可能性を見出し、コミュニケーションなど学習を通して獲得した力を使って地域活動に参加し、地域の顔なじみとなり、バリアフリーなどについて提言するなど地域をより良くするために彼らだからこその役割を持つ。 | ・効果：東京都立永福学園在籍または卒業した重症心身障がい児のうち、年度目標9名に対し、学習時間の補完、学習環境の最適化、学習内容の充実を図ることができた。 ・達成目標：助成期間中、月1回、計9回の学習支援を6名に行う。年間計54回実施。 ・到達点：左記の到達点のため、3月中旬にSHJアート&学びサポートセンターを永福町駅近くに開設する準備を進めている。 | |
| 【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> ①できた <input type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった | | |
| 今回行った事業を通して、理解者や支援者は広まりましたか。 | | |
| 「SHJ学びサポート」で得た知見を全国の当事者や支援者に広く情報共有することで支援技術を広めるため、2019年6月に冊子「バリアフリーみんなの教材図鑑」を作成し保護者、教員、放課後デイサービス、訪問看護ステーション、大学などに計500部無料配布した。反響も多く、2件の新聞取材も受けた。SHJ学びサポートHP上に「教材図鑑皆さまの声」に詳細を載せた。 | | |
| 【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> ①広がった <input type="checkbox"/> ②多少広がった <input type="checkbox"/> ③広がらなかった | | |

3 事業は当初の予定どおり実施できましたか。

| | |
|------|---|
| 自己評価 | 新型コロナウイルス感染症予防対策として休止期間があったにも関わらず、目標に近い活動回数を確保することができた。また、活動休止期間もデジタル学習コンテンツの配布や教材を無料貸し出しすることで自習を課題を提供することができた。 |
| | <p>【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ①できた <input type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった</p> |

4 「杉並区NPO支援基金」の普及啓発活動はできましたか。

| | |
|-------|---|
| 普及活動等 | 活動参加者全員にチラシを配布した。また、杉並区NPO支援基金広報のために文章や写真提供を行った。 |
| | <p>【自己評価】 いずれかにチェック(「レ」)を入れてください</p> <p><input type="checkbox"/> ①できた <input checked="" type="checkbox"/> ②概ねできた <input type="checkbox"/> ③あまりできなかった <input type="checkbox"/> ④ほとんどできなかった</p> |

5 課題と今後の活動について

| | |
|----------|---|
| 課題と今後の活動 | <p>「個別のニーズに合った学びの機会」の提供という当初の目標は達成されつつあるが、以下のような課題が明らかになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学型学習支援場所の必要性 学びサポートで培った力を土台として多様な体験を補償するため、体調の安定している日に通所による学習や少人数グループでの学習の機会を提供する必要性が出てきた。昨年度は、希望者に事務所への通所を試してもらったところ、外出の良い機会になることは確認できたが、手狭であり学習室の環境として十分でない。また、音楽のグループ学習を提案したところ、ご家庭にて実施することにはなっているがやはり広さや楽器等の搬入に困難があり不便さを感じている。そのため、通学型学習支援場所が必要である。 ・家庭学習時間の充実のため支援機器・教材レンタルの必要性 学びサポート以外の家庭での学習時間の充実のため支援機器や教材のレンタルの必要性が明らかになった。そのため、豊富な支援機器や教材を試しながら無料レンタルできるショールームが必要である。 ・支援技術の情報共有の必要性 「SHJ学びサポート」で得た知見を全国の当事者や支援者に広く情報共有することで支援技術を広めるため、2019年6月に冊子「バリアフリーみんなの教材図鑑」を作成し保護者、教員、放課後デイサービス、訪問看護ステーション、大学などに計500部無料配布したが教材の有用性を実感してもらうためには実物を手にとって試せるショールームが必要である。 ・教材作成場所の必要性 現在教材作成を公園や自宅などで行なっているが用意する教材が増え対応できなくなっている。新たな教材を作成するために木工加工を行う場所が必要である。 |
|----------|---|

6 活動状況について

★具体的な活動風景の写真などを貼付







7 収支決算

| | | | | | |
|-----|-----|---------|-----|-----|---------|
| 事業費 | [D] | 869,520 | 助成金 | [E] | 280,000 |
|-----|-----|---------|-----|-----|---------|

| | 予算額 | | 決算額 | | 決算額内訳 |
|----|-------------|-------------|-------------|---------|-----------------------|
| | | | | | |
| 収入 | 団体負担金 | 184,591 | | 189,520 | 預金 |
| | 参加費・資料代等 | 54,000 | | 50,000 | 参加費 @1000円×50回 |
| | その他の収入 | 250,000 | | 250,000 | 賛助会費@5000×50人=250,000 |
| | | 100,000 | | 100,000 | 寄附 |
| | 計 | [C] 588,591 | [F] 589,520 | | 自己資金等 |
| | 助成金 | [B] 280,000 | [E] 280,000 | | NPO活動資金助成金 |
| 合計 | [A] 868,591 | [D] 869,520 | | | |

| 費目 | 予算額 | | 決算額 | | 決算額内訳 |
|-------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|--|
| | 助成金対象経費 | 自己資金等対象経費 | 助成金対象経費 | 自己資金等対象経費 | |
| ①謝礼金等 (講師が団体内部 の場合は対象外) | | | | 250,000 | 学習支援員謝金 @5000円×50回=250,000円 (交通費含む) |
| | 小計 | 270,000 | | 250,000 | |
| ②旅費・交通費 | | | | | |
| 小計 | | | | | |
| ③備品費・消耗品費 | | | 209,000 | 86,400 | 立体コピー用紙 @17,280円×5箱=86,400円 立体コピー作成機 @209,000円×1台=209,000円 教材作成材料費 @200,000円 |
| | 小計 | 209,000 | 286,400 | 209,000 | 286,400 |
| ④通信運搬費 | | | | | |
| 小計 | | | | | |
| ⑤印刷製本費(デザイン・ 原稿作成含む) | | | 71,000 | 51,320 | 使用教材使用及び作成方法紹介冊子500部 122,320円 |
| | 小計 | 71,000 | 391 | 71,000 | 51,320 |
| ⑥使用料・賃借料 | | | | | |
| 小計 | | | | | |
| ⑦その他の経費 | | | | 1,800 | 新型コロナウイルス感染症予防のため研修会中止 ボランティア保険 @300円×6名=1,800円 |
| | 小計 | | 31,800 | 1,800 | |
| 合計 | | | 280,000 | 589,520 | 交付済助成金と助成金決算額との差額 |
| | [B] 280,000 | [C] 588,591 | [E] 280,000 | [F] 589,520 | |
| | [A] 868,591 | [D] 869,520 | | | |

☆ 注意事項 1.単価が10万円を超える物品は、見積書等を添付してください。2.団体運営のための継続的な経費は助成対象外とします。